

イオン

**第3回「AEON eco1グランプリ」
最終審査会・表彰式を昨年12月13日に開催
全国109校から123件のエントリー**



表彰式での記念撮影

一般財団法人イオンワンパ
ーセントクラブは昨年12月13
日、毎日新聞社と共催で第3
回「AEON eco1グ
ランプリ」(後援・内閣府、
文部科学省、環境省)の最終
審査会と表彰式を行った。
同グランプリは高校生が取
り組むエコ活動の成果を発表
する場を提供するとともに、
他校の取り組みを知ること
で環境への意識をより深めて
もらうことを目的に20
12年から実施してい
る。

2014年は全国1
09校から123件の
エントリーがあり、書
類による1次審査、全
国7ブロックでの2次
審査を経て、普及・開
発部門と研究・専門部
門の各ブロック代表14
校が最終審査会に臨み、
普及・開発部門で青森
県立名久井農業高校の
「草花による環境浄化
活動」、研究・専門部

門で岩手県立遠野緑峰高校の
「廃棄されるホップのしゅづ
るを活用した和紙の研究と普
及」が最優秀賞にあたる内閣
総理大臣賞を受賞、杉田和博
官房副長官から両校の代表に
賞状と副賞の活動支援金10
0万円が手渡された。

「エコの環賞」を 新設、2校を表彰

また、今回は内閣総理大臣
賞のほか、文部科学大臣賞(2
部門各1校)、環境大臣賞(1
校)、産官特別賞(3校)、
ベストプレゼンテーション賞
(1校)に加え、「エコの環(わ
賞)」に2校が選ばれた。この
「エコの環賞」はエコ活動の
さらなる広がりへの期待を込
めて新たに設置されたもので、
これまでの応募校の実践事例
を参考にして新たにエコ活動
を始めた「トライ賞」と多く
の高校に参考にされた「マス
ター賞」の2賞があり、それ
ぞれ1校が表彰された。
表彰式で審査員総評に立つ
た作家、探検家のC.W.ニ

コル氏は、「今回の活動の中で、
チームの仲間や地域の大人た
ちといろいろ話をしたと思
うが、どうかこれからも対話
することを続けて行って欲し
い。何故ならば、会話の機会
が減っていることで、もった
いない精神」などの日本の素
晴らしい伝統が失われつつあ
るからだ」と生徒たちを激励
続いて、マルタ共和国の独立
時、「全ての生物の健康」「治
安、安全」「美」の3つが国
づくりのポイ
ントであった
ことを紹介し、
「美意識は国
ごとに少しずつ
違うが、自
分の国や周囲
の自然から美
意識が生まれ
ることは同じ
だ」と述べ、
環境保全活動
の重要性を説
いた。
なお、会場
には最終審査

会に残ることの出来なかった
高校のチームの代表も傍聴に
訪れており、「今日は勉強の
ために見学に来た。他校の取
り組みを聞いて感じたことは、
どの高校も地域、企業を巻き
込んでやっているんだなとい
うこと。自分たちもやれるこ
とを考えて次回に活かして行
きたい。来年はぜひこの場所
に立ちたい。」と決意を語っ
ていた。



最終審査会の模様